

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政策	1	子育て・福祉の充実
施策	①	子育て支援の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	保育士の人数	目標値	人	/	/	/	/	17	17	
			実績値	人	16	16	17	17	0		
		現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	94.1	94.1	100.0	100.0	0.0
	16	17	18	評価		c	c	a	a		
	2	支援員の人数	目標値	人	/	/	/	/	/	4	4
			実績値	人	2	2	2	2	0		
		現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	2	4	6	評価		c	c	c	c		
	3	子育てボランティアの人数【累計】	目標値	人	/	/	/	/	/	5	5
			実績値	人	0	8	9	9	0		
		現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	160.0	180.0	180.0	0.0
	0	5	10	評価		c	a	a	a		
4	子育て応援ボランティア(仮称:ファミリーサポート・センター)の組織数【累計】	目標値	組織	/	/	/	/	/	1	1	
		実績値	組織	0	1	1	1	0			
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
-	1	1	評価		c	a	a	a			
成果 指標	1	保育園・保育所の待機児童数	目標値	人	/	/	/	/	0	0	
			実績値	人	0	0	0	0	0		
		現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	-	-	-	-	-
	0	0	0	評価		a	a	a	a		
	2	子育てに不安を感じていない世帯	目標値	%	/	/	/	/	/	50	50
			実績値	%	-	-	-	48.3	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	-	-	-	96.6	0.0
	20	50	80	評価				b			
	3	(ア)町の子育て支援事業に満足している保護者	目標値	%	/	/	/	/	/	50	50
			実績値	%	-	-	-	18.5	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	-	-	-	37.0	0.0
	23	50	80	評価				d			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	職員15人、再任用職員1人		職員15人、再任用職員1人		職員15人、再任用職員2人		職員15人、再任用職員2人				
活-2	子育て支援員2人		子育て支援員2人		子育て支援員2人		子育て支援員2人				
活-3			令和5年3月31日現在の状況		令和6年3月31日現在の状況		令和7年3月31日現在の状況				
活-4			R4.6月事業開始								
成-1	令和3年4月1日現在の状況		令和4年4月1日現在の状況		令和5年4月1日現在の状況		令和6年4月1日現在の状況				
成-2	「子ども・子育て支援事業計画」改定に伴うアンケート調査を令和5年度末～6年度において実施し、調査する。						アンケート調査(R6.7実施)				
成-3							まちづくりアンケート(R6.6実施)				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 保育サービスを充実させる			R6(2024)年度実績額	236,353千円
細事業名Ⅰ	認定こども園・保育所運営事業	実	2-1-①-1	担当課	子育て支援室
細事業名Ⅱ	子育て支援センター運営事業	実	2-1-①-4	担当課	子育て支援室
細事業名Ⅲ	学童保育運営事業	実	2-1-①-5	担当課	子育て支援室
R6(2024)年度実施内容	未就学児を対象とした認定こども園・保育所の運営及び子育て支援センターの運営事業、小学生を対象とした放課後児童クラブの運営事業を実施し、保育サービスの充実に努めた。				
進捗状況と課題	令和6年度から保育園の登園管理など業務の一部ICT化を実施し、利用者負担の軽減及び業務の効率化を図った。また、保育需要の高まりがある中で保育人材が不足しているため、今後も継続して保育課程がある道内の学校に対し保育士募集の周知を図っていく。【児童係】				

主な事業・取組	2. 出産祝い金制度を創設する			R6(2024)年度実績額	2,600千円
細事業名Ⅰ	出産祝い金支給事業	実	2-1-①-2	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	出生した子と生計を同じくする保護者へ祝い金(第1子10万円、第2子10万円、第3子以降15万円)を支給し、子育て家庭の支援を図った。				
進捗状況と課題	子どもの誕生を祝うとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て家庭の支援が図られた。また、令和6年度から5万円増額することにより、子育て世帯への更なる経済的支援の拡充を図った。【児童係】				

主な事業・取組	3. 子育て援助活動を支援する			R6(2024)年度実績額	164千円
細事業名Ⅰ	ファミリー・サポート・センター導入事業	実	2-1-①-3	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	昨年度に引き続きサポート会員と依頼会員家族との交流会及びサポート会員の活動報告会を開催した。また、サポート会員の募集を町広報等で行い、事業の定着を図った。				
進捗状況と課題	令和4年度に事業を開始したが、サポート会員の確保に課題がある。引き続き制度周知及び会員の募集を行い、事業の定着を図る。【児童係】				

主な事業・取組	4. 新たな公園を整備する			R6(2024)年度実績額	2,706千円
細事業名Ⅰ	新たな公園整備事業	実	4-3-②-45	担当課	企画課・建設水道課
細事業名Ⅱ	公園管理運営事業	実	4-3-②-46	担当課	企画課・建設水道課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	新たな公園の整備内容について、アンケートや対面による意見聴取を行い、見直しを行った。また、見直し後の整備内容の説明会を行った。【企画防災係】 町民等の意見等を反映させるため、実施設計を修正した【土木係】				
進捗状況と課題	実施計画を修正し、令和7年度から工事を行っている。整備内容の見直しにより事業費は圧縮されたが、依然として物価高騰は続いているため、今後の事業費の増加が懸念される。【企画防災係】				

主な事業・取組	5. 子育て世代包括支援センターの充実を図る			R6(2024)年度実績額	371千円
細事業名Ⅰ	子育て世代包括支援センター運営事業	実	—	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ	養育支援訪問事業	実	—	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅲ	子育て短期支援事業ほか	実		担当課	保健福祉課子育て支援室
R6(2024)年度実施内容	令和2年度開設。保健師等専門職を9人、事務職を1人兼務配置。令和3年度に保健師を専任で1人配置。あわせて児童の養育について支援が必要であると認められる保護者に対し、相談、助言等による支援を行う養育支援訪問事業に家事援助を新たに開始した。令和4年度、子どもとその家庭及び妊産婦に関する支援を一体的に行う子ども家庭総合支援拠点を設置した。令和5年度、児童養護施設において児童を短期入所させ、一時的な養育、保護を行う子育て短期支援事業と保育園等を利用していない低所得世帯や支援が必要な児童がいる世帯に対し、子育て支援センターの利用者負担を軽減し、利用を促進することで、児童の健やかな成長を支援する一時預かり利用者負担軽減事業を新たに開始した。令和6年度、実施を継続している。				
進捗状況と課題	令和6年4月からは子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を一体化させたこども家庭センターの設置が努力義務化されている。本町では令和8年度中に設置を予定している。【子ども福祉係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 認定こども園ひろお保育園及び豊似保育所の利用環境を整える			R6(2024)年度実績額	198,914千円
細事業名Ⅰ	認定こども園・保育所運営事業	実	2-1-①-1	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	就労などのために家庭で保育のできない保護者に代わって保育するほか、小学校以降の教育の基礎を作るための教育・保育を行った。また、保護者の就労形態に対応するため、時間を延長して保育を実施し、働きながら子育てをする保護者を支援した。				
進捗状況と課題	令和6年度から登園管理など業務の一部ICT化を実施し、利用者負担の軽減及び業務の効率化を図った。また、保育需要の高まりがある中で保育人材が不足しているため、今後も継続して保育課程がある道内の学校に対し保育士募集の周知を図っていく。【児童係】				

主な事業・取組	2. 子育て支援センターの支援事業の充実を図る			R6(2024)年度実績額	22,724千円
細事業名Ⅰ	子育て支援センター運営事業	実	2-1-①-4	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	子育て親子の交流の場の提供と交流を促進し、子育て及び子育て支援に関する講習等を行った。また、子育て等に関する相談・援助を実施し、地域の子育て情報の提供、保育園等に在籍していない児童の一時預かりを行った。				
進捗状況と課題	令和6年度からはオンラインでの相談を開始。また、一時的に家庭で保育できない場合に一時保育を実施するなど、引き続き保護者の育児不安の軽減と児童の健全育成を図る。【児童係】				

主な事業・取組	3. 放課後児童クラブの利用環境を整える			R6(2024)年度実績額	14,715千円
細事業名Ⅰ	学童保育運営事業	実	2-1-①-5	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(小学生)に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全育成を図った。				
進捗状況と課題	引き続き個別に支援が必要となる児童への対応などについて学ぶ研修機会の確保など、支援員の育成を図っていく。また、熱中症対策など児童の健康確保を図るため、令和6年度にエアコンを設置した。【児童係】				

主な事業・取組	4. 乳幼児等医療給付事業を継続する			R6(2024)年度実績額	20,168千円
細事業名Ⅰ	乳幼児等医療給付事業	実	2-1-①-6	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	未就学児及び小中高生の医療費をその保護者に助成した。				
進捗状況と課題	子育て支援策として実施しており、保護者の経済的負担が軽減されるとともに乳幼児等の疾病早期治療の促進が期待される。【国保係】				

主な事業・取組	5. ひとり親家庭等医療給付事業を継続する			R6(2024)年度実績額	4,847千円
細事業名Ⅰ	ひとり親家庭等医療給付事業	実	2-1-①-7	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	ひとり親家庭等の母及び父とその児童に医療費の一部を助成した。				
進捗状況と課題	ひとり親家庭の経済的負担が軽減されるとともに、子どもの健全な育成と福祉の増進が図られた。【国保係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

			記載者	
子住企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業が令和4年に開始され、保育士や支援員も現状維持されており、待機児童も出ていない状況であり、また、短期支援事業や利用者負担軽減事業の新規事業も開始し、想定どおりに事業が進んでいると評価します。（子育て支援室長） ・公園整備事業について議会からの提言書を受け、令和6年度は整備内容の再検討をしたため、当初の事業スケジュールから遅れが生じている。（企画課長補佐） ・少子化が加速する中、子を持つ親が躊躇することなく医療機関にかかることができ、安心して産み育てることができる環境を推進できた。（住民課長） 	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）

			記載者	
子住企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業について、子育て支援の充実を図る内容となっており、短期支援事業や利用者負担軽減事業の新規事業も開始され、今後の支援の拡大が期待されるので概ね有効と評価します。（子育て支援室長） ・成果が表れるのは後年次になるが、公園の整備は子育て支援の充実につながるが見込まれる。（企画課長補佐） ・医療費の一部または全部を助成することにより、経済的理由によらず疾病の早期治療の促進が図られた。（住民課長） 	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

子育て支援の充実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B	B	B	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	B	B	B	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	B	B	B		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政策	1	子育て・福祉の充実
施策	②	地域福祉の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期達成状況	
活動指標	1	コミュニティソーシャルワーカーによる相談人数【単年】	目標値	人					90	90	
			実績値	人	60	26	30	36	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	28.9	33.3	40.0	0.0	0.0
	84	90	95	評価		c	c	c	c		
	2	障がい者や高齢者など様々な立場の人が集える場（地域福祉活動拠点・「たまり場」）【累計】	目標値	箇所						3	3
			実績値	箇所	2	2	2	2	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	
2	3	4	評価		c	c	c	c			
成果指標	1	ボランティアの登録人数【単年】	目標値	人					193	193	
			実績値	人	176	178	212	189	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	91.2	92.2	109.8	97.9	0.0	0.0
	188	193	198	評価		c	c	a	b		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1			独居高齢者訪問事業未実施のため実績減(実施主体:社協)								
活-2	なごやかサロン、のびのびサロン		なごやかサロン、のびのびサロン		なごやかサロン、のびのびサロン		なごやかサロン、のびのびサロン				
成-1	介護予防ボランティア135人、福祉ボランティア41人		介護予防ボランティア139人、福祉ボランティア39人		介護予防ボランティア170人、福祉ボランティア42人		介護予防ボランティア153人、福祉ボランティア36人				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞			
主な事業・取組	1. 多様な世代が集い、交流する場をつくる		R6 (2024) 年度実績額
細事業名Ⅰ		実	担当課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6 (2024) 年度実施内容	月に1回程度、多様な世代が集う場として老人福祉センターを拠点に「なごやかサロン」、「のびのびサロン」を実施し、介護予防運動やパークゴルフ、ゲームなどで交流を行っているほか、重層的支援体制整備事業として、「スマートフォン講習会」を年4回開催し、多世代の交流を図った。		
進捗状況と課題	多様な世代が集える場として各種イベントを継続して行うほか、多様な世代が集い交流しやすいように、開催内容や周知方法等の工夫を図る必要がある。【福祉係】		

主な事業・取組	2. 地域福祉を担う人材を育成する			R6(2024)年度実績額	1,815千円
細事業名Ⅰ	介護職員初任者研修開催事業	実	2-2-②-43	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	介護人材育成交付金事業	実	2-2-②-44	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ	医療技術者等就学貸付金事業	実	2-3-②-74	担当課	保健福祉課
R6(2024)年度実施内容	介護職員初任者研修を開催し、4名の受講があった。また、医療技術者等就学貸付金事業についても1件申請があり、地域福祉を担う人材の育成につながった。				
進捗状況と課題	介護人材を育成する事業以外にも、地域福祉活動を担うリーダーを育てる研修や小・中学生や高校生が福祉への関心を高める取組を進める必要がある。引き続き各種制度等の周知を図るとともに、介護職員初任者研修については、受講希望者が受講しやすいよう時期や時間帯を工夫していく。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 相談支援体制を強化する			R6(2024)年度実績額	14,527千円
細事業名Ⅰ	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	実	2-1-②-59~61	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	民生委員活動事業	実	2-1-②-11	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	コミュニティソーシャルワーカー配置事業(重層的支援事業)は、広尾町社会福祉協議会に委託し、様々な課題に対応する専門職員を配置することで、地域における見守り・発見・つなぎ・資源開発機能の強化を図った。民生委員活動事業でも、担当地区の要援護者・要保護者の世帯に対する生活相談、援護活動を実施した。				
進捗状況と課題	コミュニティソーシャルワーカーを配置することで、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制が図られている。民生委員については、なり手不足が課題となっている。【福祉係】				

主な事業・取組	4. まち全体で福祉に対する意識の醸成を図る			R6(2024)年度実績額	13,923千円
細事業名Ⅰ	社会福祉協議会補助事業	実	2-1-②-14	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	福祉サービス推進のため広尾町社会福祉協議会に対し補助金を支出し、町民を対象とした各種事業を行い、福祉の増進を図った。				
進捗状況と課題	事業内容として、福祉まつり・高齢者スポーツ大会の開催ほか、ボランティアセンターや小規模ネットワーク事業の推進等を行ない、福祉の増進を図った。事業の推進にあたり人材不足の課題がある。【福祉係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 福祉ボランティアポイント制事業を推進する			R6(2024)年度実績額	13千円
細事業名Ⅰ	福祉ボランティアポイント事業	実	2-1-②-12	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	介護予防、福祉ボランティア養成研修修了者に対し、ボランティアに応じたポイントの発行と商品券との交換事業を実施した。				
進捗状況と課題	令和4~6年までの年間活動回数は160件前後で推移しており、需要が一定程度ある。今後も事業を継続して行うために活動者数を維持する必要がある。【福祉係】				

主な事業・取組	2. ボランティアセンターに対する活動費の補助やボランティア団体に対する助成を行い、ボランティアの育成を図る			R6(2024)年度実績額	576千円
細事業名Ⅰ	ボランティア団体活動助成事業	実	2-1-②-13	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に委託し、ボランティアセンターに対する活動費の補助や、ボランティア団体に対する助成を実施した。				
進捗状況と課題	ボランティア団体の活動に対し各種助成を行うなど、社会福祉協議会がボランティア活動の推進拠点として重要な役割を果たしている。就労年齢の高齢化により、ボランティア人材の確保に課題がある。【福祉係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	保健福祉課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	ボランティアの登録人数は前年より減少した。コミュニティソーシャルワーカー配置事業では、委託先である広尾町社会福祉協議会が、地域における見守り・発見・繋ぎ・資源開発機能の強化を図るため精力的に活動している。	
	B 想定どおりに進んでいる			
○	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	保健福祉課長
	A 有効であった	評価理由	各事業課題はあるものの、課題解決に向け進捗しており、事業の構成や規模は概ね有効である。	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
地域 福祉 の 推進	2	一次評価（担当課の評価）				
	1	C	C	B	C	
	2	二次評価（主管者会議の評価）				
	1	C	C	B	C	
	2	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	1	C	C	B	C	

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯 意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	2	高齢者・障がい者福祉の充実
施 策	①	高齢者・障がい者福祉の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	「お互いさまひろお通信」での 情報発信回数【単年】	目標値	回					6	6	
			実績値	回	3	2	4	4		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	50.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0
	3	6	7	評 価		c	c	b	b		
	2	広報紙、各種会議等での老人 クラブ加入促進広報回数【単 年】	目標値	回						1	1
			実績値	回	1	1	1	1		0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	
—	1	2	評 価		a	a	a	a			
成果 指標	1	「お互いさまひろお」の活動者 数	目標値	人					35	35	
			実績値	人	20	38	35	43		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	57.1	108.6	100.0	122.9	0.0	0.0
	27	35	40	評 価		d	a	a	a		
	2	高齢者勤労事業部登録者数 【単年】	目標値	人					50	50	
			実績値	人	37	41	46	39		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	74.0	82.0	92.0	78.0	0.0	0.0
	45	50	50	評 価		c	c	c	c		
	3	老人クラブ加入者数【単年】	目標値	人					390	390	
			実績値	人	351	331	312	271		0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	90.0	84.9	80.0	69.5	0.0	0.0	
381	390	400	評 価		d	d	d	d			
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)						
活-1	生活支援コーディネーターの 活動通信	生活支援コーディネーターの 活動通信	生活支援コーディネーターの 活動通信	生活支援コーディネーターの 活動通信							
活-2											
成-1	地域の支え合い仕組みに参加 する町民数	地域の支え合い仕組みに参加 する町民数	地域の支え合い仕組みに参加 する町民数	地域の支え合い仕組みに参加 する町民数							
成-2											
成-3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 高齢者が生きがいを持って、活躍できる場をつくる			R6(2024)年度実績額	4,247千円
細事業名Ⅰ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-2-①-17	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ	高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業	実	2-2-①-18	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的とした高齢者勤労事業部の運営に対し、補助金による支援を行った。 高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業は、広尾町社会福祉協議会に委託し、軽度生活援助事業、給食サービス事業、布団洗濯乾燥消毒サービス事業を実施した。				
進捗状況と課題	高齢者勤労事業部は登録者数が前年に比べて減少しており、継続して事業周知を行い新規人材確保に取り組む必要がある。高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業は、前年に比べ給食サービスの利用者が増え、年間の給食利用回数も50パーセント以上の増となっている。住民の高齢化に伴い今後益々需要が高まることが予想されることから、利用を希望される方が支援を受けられるよう、継続して事業を行う必要がある。【福祉係】				

主な事業・取組	2. 障がい者が地域で安心して暮らせる環境をつくる			R6(2024)年度実績額	10,906千円
細事業名Ⅰ	地域生活支援事業	実	2-2-①-19	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	地域生活支援事業として、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、日中一時支援事業、法人後見支援事業、移動支援事業等を実施した。				
進捗状況と課題	日常生活用具支給事業の実績が前年比増となったほか、日中一時支援事業についても前年比増となった。【福祉係】				

＜継続的事業＞					
主な事業・取組	1. 高齢者勤労事業部に対する運営補助を行い、高齢者の就労の場を確保する			R6(2024)年度実績額	1,000千円
細事業名Ⅰ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-2-①-17	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に委託し、高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的とした高齢者勤労事業部の運営に対し、その運営に補助を行い高齢者の社会参加の促進に寄与した。				
進捗状況と課題	高齢者勤労事業部の登録者数は、前年比7人減の39人に減少し人員の確保に課題がある。今後も防災無線等での事業周知を継続して行き、新規人材確保に取り組む必要がある。【福祉係】				

主な事業・取組	2. 老人クラブ連合会や単位老人クラブへの運営補助を行い、活動の推進を図る			R6(2024)年度実績額	1,144千円
細事業名Ⅰ	老人クラブ活動支援事業	実	2-2-①-20	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	高齢者の生きがいと健康づくり等を推進している、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し運営補助を行った。				
進捗状況と課題	会員の高齢化により会員数が減少しているため、広報紙等での周知を継続するほか、新規加入者を増やす取り組みについて検討する必要がある。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 成年後見あんしんセンター業務を社会福祉協議会への委託により実施する			R6(2024)年度実績額	6,866千円
細事業名Ⅰ	成年後見あんしんセンター運営事業	実	2-2-①-21	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に成年後見あんしんセンターの運営を委託し、後見等の業務を適正に行うことができる体制を整備している。				
進捗状況と課題	令和6年度は相談件数1件あり、研修会を2回開催した。【福祉係】				

主な事業・取組	4. 障がい者就労体験事業により役場の職場に障がい者を受け入れる			R6(2024)年度実績額	953千円
細事業名Ⅰ	障害者就労体験事業	実	2-2-①-22	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	多機能型事業所ゆうゆう舎に事業を委託。障がい者を実習生として受け入れることで、一般企業の障がい者雇用に対する理解を深め、障がい者の社会参加の促進を図った。				
進捗状況と課題	新たな依頼も増えたことで、就労日数が前年比増となっており、社会参加の促進が図られている。【福祉係】				

主な事業・取組	5. 高齢者や障がい者等に対する各種生活支援事業を社会福祉協議会への委託により実施する			R6(2024)年度実績額	5,087千円
細事業名Ⅰ	生活支援体制整備事業	実	2-2-①-23	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを1名配置。関係団体や町民から構成される協議体を中心として、生活支援サービスの検討やボランティアの育成、地域における支え合い・助け合いの仕組みづくりなどを推進した。令和7年4月1日開始の有償ボランティア事業(おたすけサンタ)に向け、町民や関係者等と検討しながら制度設計を行った。				
進捗状況と課題	地域のボランティアや関係団体と支え合いの仕組みに関する検討や情報発信など行っている。今後は有償ボランティア事業(おたすけサンタ)も広く周知する。				

主な事業・取組	6. 老人福祉施設の維持管理を適切に行い、利用者の安全を確保するとともに、老朽化が進む特別養護老人ホームつつじ苑の改築について、計画期間中に方向性を定める			R6(2024)年度実績額	798,257千円
細事業名Ⅰ	老人福祉センター管理運営事業	実	2-2-①-24	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ	生活支援ハウス管理運営事業	実	2-2-①-25	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅲ	特別養護老人ホーム改築事業	実	2-2-①-28	担当課	特別養護老人ホーム
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)、(Ⅱ)高齢者の各種活動の施設である老人福祉センター、生活支援ハウスの管理及び運営を行い、高齢者福祉の向上を図った。 (Ⅲ)令和7年度新施設開設に向け、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手した				
進捗状況と課題	(Ⅰ)老人福祉センターの利用回数、利用人員は前年に比べ増加している。【福祉係】 (Ⅲ)家族会総会において建て替えについての説明を行った。介護職員会議等で現場でのケア方法について検討を実施している。建替え工事の契約を6月に行い、工事を着工したが、資材等の納品の遅れや人手不足などから、工期が令和7年度まで延長となった。【特養】				

主な事業・取組	7. 重度心身障害者医療給付事業を継続する			R6(2024)年度実績額	13,337千円
細事業名Ⅰ	重度心身障害者医療給付事業	実	2-2-①-41	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	身障手帳1～3級(3級は内部障害に限る)、重度の知的障がい者(療育手帳A判定)及び精神障がい者手帳1級所持者に医療費の一部を助成した。				
進捗状況と課題	障がい者の健康保持並びに経済的負担の軽減が図られた。【国保係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者
福住特	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者勤労事業部、老人クラブの会員数は新型コロナウイルス感染症の影響以降減しているが、生活支援体制整備事業では委託先の広尾町社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、地域の仕組みづくりの推進につながった。老人福祉センターの利用回数、利用者増は前年度より増加しており、高齢者福祉の向上が図られている。（保健福祉課長） ・工期は令和7年度まで延長となったが、開設に向けて新たなケア体制の準備や施設のあり方の共有など建替えにあたってスケジュールどおりに進捗できている。（特養所長） ・医療機関に受診する機会が多い障がいを持つ人に助成することで、安心して暮らせる環境を推進できた。（住民課長）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者
福住特	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・広尾町社会福祉協議会、ゆうゆう舎に委託している地域生活支援事業、障がい者就労体験事業、生活支援体制整備事業等は例年どおり実施し、特に問題なく実施されているので有効である。（保健福祉課長） ・資材の不足等により工期は延長となったが、入所者が過ごしやすい環境づくりのため、令和7年度の開設に向けて、スケジュールどおり進捗している。（特養所長） ・医療費の一部または全部を助成することにより、経済的理由によらず疾病の早期治療の促進が図られた。（住民課長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

高齢者・障がい者の福祉の充実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C	C	B	B		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C	C	B	B		
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
C	C	B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政策	2	高齢者・障がい者福祉の充実
施策	②	介護予防・介護サービスの充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	認知症サポーター養成者数 【累計】	目標値	人					1,600	1,600	
			実績値	人	1,695	1,833	1,928	2,040	0		
		現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	105.9	114.6	120.5	127.5	0.0
	1,236	1,600	2,000	評価		a	a	a	a		
	2	いきいき百歳体操等、通いの 場への参加率	目標値	%						9.5	9.5
			実績値	%	8.4	8.3	7.8	8.7	0		
現状(H30)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	88.4	87.4	82.1	91.6	0.0	0.0
8.7	9.5	10.0	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	要介護認定率	目標値	%						17.4	17.4
			実績値	%	15.8	15.8	16	15.9	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	90.8	90.8	92.0	91.4	0.0	0.0
	15.2	17.4	18.0	評価		a	a	a	a		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	R3受講者数112人		R4受講者138人		R5受講者95人		R6受講者112人				
活-2	65歳以上の参加者 214人		65歳以上の参加者 209人		65歳以上の参加者 191人		65歳以上の参加者 213人				
成-1	認定者403人/65歳以上高齢 者2,553人		認定者398人/65歳以上高齢 者2,512人		認定者398/65歳以上高齢者 2,456人		認定者394/65歳以上高齢者 2,436人				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. 認知症施策のさらなる推進を図る				R6(2024)年度実績額	16,663千円
細事業名Ⅰ	認知症サポーター等養成事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター	
細事業名Ⅱ	認知症総合支援事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター	
細事業名Ⅲ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター	
R6(2024)年度 実施内容	認知症に関する相談窓口業務や認知症地域支援推進員の配置、認知症初期集中支援チームの検討委員会や認知症サポーター養成講座の開催などに取り組んだ。また、認知症上級サポーターが中心となって地域で活動する「チームオレンジ」の活動を推進し、認知症カフェの運営など地域での認知症支援体制を整備した。					
進捗状況と課題	認知症サポーター養成講座は、一般町民や企業、小中学生などを対象に計画的に実施できている。認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターが連携を図り、地域での支え合い体制に関する取組を進めている。認知症当事者やその家族が参加する認知症カフェ「かたつむりカフェ」について、これまで車を持たない高齢者の参加が難しい課題はあったが、サポーターが自主的に送迎を行うなど支え合いの取組が進んでいる。次世代を担う若年層のサポーターが少ないため、若年層のサポーターを増やす取組が必要である。					

主な事業・取組	2. 介護を担う人材の育成を図る			R6(2024)年度実績額	1,815千円
細事業名Ⅰ	介護職員初任者研修開催事業	実	2-2-②-43	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	介護人材育成交付金事業	実	2-2-②-44	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ	医療技術者等就学金貸付金事業	実	2-3-②-74	担当課	保健福祉課
R6(2024)年度実施内容	介護職員初任者研修を開催し、4名の受講があった。また、医療技術者等就学金貸付金事業についても1件申請があり、地域福祉を担う人材の育成につながった。				
進捗状況と課題	介護人材を育成する事業以外にも、地域福祉活動を担うリーダーを育てる研修や小・中学生や高校生が福祉への関心を高める取組を進める必要がある。引き続き各種制度等の周知を図るとともに、介護職員初任者研修については、受講希望者が受講しやすいよう時期や時間帯を工夫していく。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 住民が主体となった介護予防の取組を充実させる			R6(2024)年度実績額	1,182千円
細事業名Ⅰ	一般介護予防事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	介護予防教室の開催や住民主体の通いの場(いきいき百歳体操やサロン等)の支援、介護予防に関する普及促進、理学療法士などが地域で指導や評価を行うなど介護予防の取組を推進した。				
進捗状況と課題	コロナ過では介護予防の参加者が減少していたが、制限が廃止となった以降参加者が戻ってきている。また、介護予防教室については、通えない参加者に対して、従来の通所型のほか、自宅に対応できる訪問型の運動プログラムに取り入れ実施している。				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 認知症サポーターなどが地域で支援を行う仕組みづくりを推進し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域をつくる			R6(2024)年度実績額	16,663千円
細事業名Ⅰ	認知症サポーター等養成事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	認知症総合支援事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅲ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
R6(2024)年度実施内容	認知症に関する相談窓口業務や認知症初期集中支援チームによる認知症高齢者やその家族への支援、認知症地域支援推進員の配置、認知症サポーター養成講座の開催などに取り組んだ。また、認知症上級サポーターが中心となって地域で活動する「チームオレンジ」の活動を推進し、認知症カフェの運営など地域での認知症支援体制の整備を図った。				
進捗状況と課題	認知症サポーター養成講座は、一般町民や小中学生などを対象に計画的に実施できている。認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターが連携を図り、地域での支え合い体制に関する取組を進めている。認知症当事者やその家族が参加する認知症カフェ「かたつむりカフェ」では、上級の養成講座を受講したサポーターで構成する「かたつむりの会」の会員が自主的にカフェの運営などを行っている。次世代を担う若年層のサポーターが少ないため、若年層のサポーターを増やす取組が必要である。				

主な事業・取組	2. 多職種連携会議などを通じて、切れ目のない医療と介護サービスが提供できる体制づくりを推進する			R6(2024)年度実績額	8,065千円
細事業名Ⅰ	在宅医療・介護連携推進事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	地域ケア会議推進事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	医療・介護関係者が集まる多職種連携会議や町民向けの講演会の開催、ICTの活用など医療と介護関係者の連携を高める取組を推進した。また、高齢者の事例を検討する地域包括ケア個別検討会議や介護支援専門員部会などを開催し、高齢者支援や地域課題などについて検討を行った。				
進捗状況と課題	町内の医療・介護関係者を参集した各種会議を開催し、医療と介護の連携に関する課題などについて検討した。また、町民向けに外部講師を招いた研修会を開催し、終末期医療や介護に関する普及啓発を行った。切れ目なく医療・介護サービスを提供するためには資源や人材などの充実が必要であるが、24時間365日対応できる医療・介護の提供体制の未整備や介護人材の不足などの課題がある。				

主な事業・取組	3. 介護保険財政の健全運営に努める			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	介護給付費等適正化事業	実	2-2-②-45	担当課	保健福祉課介護保険係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	国の介護給付費適正化事業見直しにより、令和6年度以降は廃止とした。【介護保険係】				
進捗状況と課題	実施なし				

主な事業・取組	4. 広報紙、防災無線を通じて、介護保険の制度やサービス、介護予防活動などを周知する			R6(2024)年度実績額	61,006千円
細事業名Ⅰ	地域支援事業	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	重層的支援体制整備事業	実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	地域包括支援センターの全ての事業や介護保険制度について、広報紙や防災無線、各種会議、窓口での相談、訪問先などで情報発信や普及啓発を行った。				
進捗状況と課題	広報や防災無線などを通じて、随時介護保険制度や高齢者の生活のための情報を発信した。また、窓口や訪問先での相談業務においても、パンフレットなどを活用しながら情報発信している。				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	地域包括支援センター長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	毎年計画的に認知症サポーター養成講座、いきいき百歳体操サポーター養成講座を実施しており、計画的には想定どおりに進んでいると言える。特に、認知症サポーター養成講座については、町民のほか各関係団体向けにも開催できており、関係団体での認知症対応に関する質の向上につながったと考える。これらの取組は高齢者が介護になることを予防する一助となっており、要介護認定率上昇の抑止につながっている。		
○	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	地域包括支援センター長
	A 有効であった	評価理由	認知症の症状、対応についての理解を深めることは、認知症の早期発見・進行の防止の一助となっている。認知症施策やいきいき百歳体操をはじめとする介護予防事業は、要介護認定率上昇の抑止効果をもたらしていると考えられる。今後も職域における認知症サポーター養成講座を開催する等取組の推進を要する。		
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
介護 予 防 の 充 実	一次評価（担当課の評価）				
	A	B	B	B	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	A	B	B	B	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	A	B	B	B	

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	3	健康づくりの推進
施 策	①	健康づくりの推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	健康チェックの必要性に関する啓発回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	2	2	
			実績値	回	2	2	2	2	0	0	
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
	1	2	2	評 価		a	a	a	a		
	2	健康増進用品の周知回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	4	4	
			実績値	回	2	2	2	4	0	0	
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	50.0	50.0	50.0	100.0
	2	4	5	評 価		c	c	c	a		
	3	食育教室の開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	2	2	
			実績値	回	8	8	8	8	0	0	
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	400.0	400.0	400.0	400.0
	0	2	2	評 価		a	a	a	a		
成果 指標	1	特定健診を受けている人の割合	目標値	%	/	/	/	/	60	60	
			実績値	%	52.5	56.3	59.5	60.4	0	0	
			現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	87.5	93.8	99.2	100.7
	33.7	60	60	評 価		b	b	b	a		
	2	特定保健指導を利用する人の割合	目標値	%	/	/	/	/	60	60	
			実績値	%	66.7	72.4	59.6	88.2	0	0	
			現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	111.2	120.7	99.3	147.0
	35.7	60	60	評 価		a	a	a	a		
	3	運動習慣がある人の割合	目標値	%	/	/	/	/	30	30	
			実績値	%	26.3	23.4	25.6	27.1	0	0	
			現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	87.7	78.0	85.3	90.3
	27.8	30	35	評 価		c	c	c	b		
4	朝食を欠食する人の割合	目標値	%	/	/	/	/	0	0		
		実績値	%	5.4	5.9	5.5	1.3	0	0		
		現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	-	-	-	-	-
1	0	0	評 価		c	c	c	b			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1							我が家の健康づくりガイド1回、健康管理センターだより1回				
活-2							広報3回、我が家の健康づくりガイド1回				
活-3	ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回 計8回		ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回 計8回		ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回 計8回		ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回 計8回				
成-1	KDBシステムより		KDBシステムより		見込値(KDBシステムより)		見込値(KDBシステムより)				
成-2					見込値		見込値				
成-3	KDBシステムより		KDBシステムより		見込値(KDBシステムより)		見込値(KDBシステムより)				
成-4	全国学力・学習状況調査		全国学力・学習状況調査		全国学力・学習状況調査		全国学力・学習状況調査				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 自分の健康を管理する意識を向上させる			R6(2024)年度実績額	8,290千円
細事業名Ⅰ	特定健診プレゼント事業(旧:けんしんスタンプカード事業)	実	2-3-①-48	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ	特定健康診査等事業	実	2-3-①-49	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅲ	高齢者健康診査事業	実	2-3-①-50	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅳ	健康づくりに関する普及啓発事業	実		担当課	保健福祉課健康管理センター
R6(2024)年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身で健康を管理する意識を高めるため、年間の保健事業スケジュールをまとめた「我が家の健康づくりガイド」の全戸配布、「健康管理センターだより」を発行した。 ・広報のお知らせ広場やコラム欄に特定健診やがん検診の必要性について掲載した。 ・令和元年から取り組み始めた家庭訪問等による国保特定健診の受診勧奨を継続実施した。【保健推進係】 				
進捗状況と課題	特定健診の受診状況は計画通りに進捗しているが、定着するよう働きかけを続ける必要がある。【保健推進係】				

主な事業・取組	2. 健康寿命を延ばす食育の推進を図る			R6(2024)年度実績額	3千円
細事業名Ⅰ	保育園における食育教室	実		担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児(3~5歳児)を対象に、子ども自身が食べ物や体のことに関心を持ち、食の正しい選択ができるよう講話・体験を実施した(延べ143名の園児が参加)。 ・教室終了後、保護者に向けて教室の様子や講和内容を記載した通信を発行した。【保健推進係】 				
進捗状況と課題	子どもの食の問題は家庭環境が大きく影響するが、親世代の食習慣を変えることは非常に困難である。そのため、子どもに望ましい食習慣を伝え、保護者の意識の醸成につながるよう、継続的に事業を進めていく必要がある。【保健推進係】				

主な事業・取組	3. 運動習慣を定着させる			R6(2024)年度実績額	5千円
細事業名Ⅰ	健康キャラバン事業	実	2-3-①-51	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	町内会や老人クラブを対象とした健康キャラバンを実施し、健康づくりや運動方法について紹介した。R6年度は健康推進部主催のウォーキング教室、理学療法士による運動器症候群予防について健康教育を実施した。【保健推進係】				
進捗状況と課題	運動習慣がある人の割合が少ないという課題があることから、今後も運動に関する取組を継続していく。【保健推進係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 自分の健康を管理するための普及啓発を行う			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	健康キャラバン事業	実	2-3-①-51	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	生活習慣病予防、その他健康に関する知識の普及のため、町内会や団体等へ健康教育を行った。【保健推進係】				
進捗状況と課題	対象者に効果的にメッセージが届くよう、視覚媒体を工夫しながら普及啓発を行う必要がある。【保健推進係】				

主な事業・取組	2. 健康増進用品の周知・貸出や、ウォーキングマップの紹介を行う	R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6(2024)年度実施内容	・広報のコラム記事や「健康管理センターだより」にて、健康増進用品の周知や貸出について周知を図った。 ・特定健診の結果説明会において、ウォーキングマップの紹介を行った。【保健推進係】		
進捗状況と課題	健康増進用品の貸出やウォーキングマップの周知を継続する。【保健推進係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）		記載者	健康管理センター次長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	活動指標と成果指標7項目のうち、a評価が5項目、b評価が2項目、概ね推進できていると判断した。
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）		記載者	健康管理センター次長
○	A 有効であった	評価理由	児童・生徒の欠食状況が改善傾向である。また、特定健診の受診勧奨の取り組みに成果が見られ、受診率目標の60%を達成し、特定保健指導においても実施率が向上してきているため、取り組みが有効であったと判断した。
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

健康づくりの推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	B	B	B	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B	B	A	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
B	B	B	A		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)	取組の成果により成果目標も達成度「a」項目が多くなっていることなどから、「A」評価が妥当と判断した。	
R7(2025)			

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	3	健康づくりの推進
施 策	②	地域医療体制の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	診療科数		目標値	科					9	9
				実績値	科	10	10	10	9	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	111.1	111.1	111.1	100.0	0.0	0.0
	9	9	9	評 価		a	a	a	a		
	2	常勤医数		目標値	人					4	4
				実績値	人	4	3	3	4	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	75.0	75.0	100.0	0.0	0.0	
3	4	5	評 価		a	b	b	a			
成果 指標	1	1日平均患者数(外来)		目標値	人					171	171
				実績値	人	220.1	187.4	161.3	141.3	0	
	現状(R1) ※9月末	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	128.7	109.6	94.3	82.6	0.0	0.0
	166	171	175.0	評 価		a	a	c	d		
	2	1日平均患者数(入院)		目標値	人					41	41
				実績値	人	28.4	25.9	31.2	29.2	0	
現状(R1) ※9月末	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	69.3	63.2	76.1	71.2	0.0	0.0	
37.7	41	41.0	評 価		c	d	c	d			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	内科ほか9科		内科ほか9科		内科ほか9科		内科ほか8科				
活-2	内科医3名、外科医1名(令和4年3月31日時点)		内科医2名、外科医1名(令和5年3月31日時点)		内科医2名、外科医1名(令和6年3月31日時点)		内科医3名、外科医1名(令和7年3月31日時点)				
成-1	53,268人÷242日		38,911人÷243日		39,208人÷243日		34,340人÷243日				
成-2	10,382人÷365日		9,450人÷365日		11,406人÷365日		10,647人÷365日				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 国保病院の診療体制を充実させる			R6(2024)年度実績額	118,497千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	入院医療では、回復期に対応する地域包括ケア病床32床と急性期及び慢性期に対応する急性期一般病床16床、合わせて48床を維持した。外来医療では、北斗病院からの医師の派遣により、ニーズの高い循環器内科や整形外科などの診療体制を維持し、「かかりつけ医」としての役割を担った。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	入院医療では、看護師の不足が患者減に影響している。外来医療では、地域医療ニーズに応えるため、皮膚科の再開や泌尿器科の新設が必要である。また、小児科を担っていた町内クリニックが閉院したため、小児対応も検討しなければならないが、専門医の確保が大きな課題となっている。【健康管理センター】				

主な事業・取組	2. 地域医療機関の連携を強化する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	医療懇談会の開催	実		担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	開催予定であったが、国保病院の医師との調整がつかなかったことや、町内の診療所の閉院が影響し、開催することができなかった。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	地域医療の維持と充実を目的として、医療・健康課題を検討するため、医療懇談会を開催できるよう調整する必要がある。【健康管理センター】				

主な事業・取組	3. 地域包括ケアシステムを充実させる			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	国保病院内の広尾医療介護連携支援センターの医療メディエーターによる患者への入退院支援などで、医療と介護の連携が強化された。また、町内医療機関や近隣の介護施設と地域医療連携ネットワークシステム(TMIリンク)を活用した医療・介護の情報共有により、地域包括システムの充実が図られた。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	訪問診療や訪問看護の実施において、担当看護師の不足が課題となっている。【健康管理センター】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 妊産婦の健診等に必要な交通費等について支援を継続する			R6(2024)年度実績額	3,038千円
細事業名Ⅰ	妊産婦健診通院費等助成事業	実	2-3-②-54	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	健診費用(妊婦健診14回、産婦健診2回、1か月健診)と通院費用(妊婦健診、出産時、産婦健診)を助成し、経済的な負担の軽減を図った。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	安心して子どもを産み育てることのできる環境整備の一環として、支援を継続する。【健康管理センター】				

主な事業・取組	2. 人工透析通院のための経済的負担の緩和のための支援を継続し実施する			R6(2024)年度実績額	8,321千円
細事業名Ⅰ	障害者及び特定疾患患者等通所通園交通費助成事業	実	2-3-②-55	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ	腎臓機能障害者通院送迎サービス事業	実	2-3-②-56	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	療育施設通園児、人工透析及び指定難病等通院者と腎臓機能障害により人工透析療法を受けている者に対し、交通費の一部を助成。				
進捗状況と課題	交通費助成事業については、助成人数が前年比増となったことで、助成金額も前年比増となった。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 国保病院の経営の健全化を図る			R6(2024)年度実績額	191,889千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	病院経営の健全化に向けて、理事会において重要事項が決定されたほか、責任者会議で各部門の情報共有が図られた。また、北斗病院から経営アドバイスを受け、収益の確保と費用の削減を図った。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	患者減により医業収益が伸び悩む反面、物価高騰や人件費の増により費用が膨らみ、約3,000万円の損失決算となった。経営の立て直しが喫緊の課題である。【健康管理センター】				

主な事業・取組	4. 医師をはじめ医療従事者の確保に努める			R6(2024)年度実績額	59,764千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ	医療技術者等就学資金貸付金事業	実	2-3-②-74	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医師については、常勤医4人体制を維持し目標を達成できた。薬剤師(在籍1人)については、通年の募集を行ったものの、その不足を解消できなかった。リハビリセラピストについては、北斗病院からの派遣により目標の5人を確保することができた。また、医師事務作業補助者(5人)、医療メディエーター(4人)についても、目標どおりに確保することができた。看護師については、ハローワークによる通年募集、紹介業者の活用、就職説明会への参加、ナースバンクの登録など人材確保に向けて取り組んだが、期限付きの応援ナースの採用にとどまり、反対に退職者が複数人出る結果となり、目標35人のところ26人と大幅な不足が生じた。【健康管理センター】 				
進捗状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の恒常的な不足が最重要課題であり、人材確保に向けて重点的に取り組む必要がある。【健康管理センター】 ・就学資金貸付金事業について、広尾高校をはじめ継続して広く周知を行うことで、引き続き医療従事者の確保に努める必要がある。【福祉係】 				

主な事業・取組	5. 医療専門職をはじめ職員の質の向上のための研修を継続し実施する			R6(2024)年度実績額	15,505千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	看護師などが「北海道在宅褥瘡セミナー」「医療安全管理者フォローアップ研修」「日本作業療法学会」「認知症ケア研修」などの外部研修に参加し、能力向上に努めた。また、医師事務作業補助員についても、スキルアップ講座を受講した。接遇研修については、全職員がウェブによる医療接遇オンラインセミナーを受講した。【健康管理センター】				
進捗状況と課題	経営改善の取り組みとして患者サービスの充実は重要であり、職員の一層の接遇向上が求められる。【健康管理センター】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	健康管理センター長
健福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・外来医療では北斗病院からの医師の派遣により、ニーズの高い循環器内科や整形外科などの診療体制を維持し、「かかりつけ医」としての役割を担った。また、院内の広尾医療介護連携支援センターにより患者への入退院支援が行われ、医療と介護の連携が強化されたほか、町内の医療機関などと地域医療ネットワークシステムを活用した医療・介護の情報共有により、地域包括システムの充実が図られた。（健康管理センター長） ・交通費助成及び腎臓機能障害者通院送迎サービス事業について、必要性の高い事業であるので、目指す方向に進んでいる。（保健福祉課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	健康管理センター長
福 健	A 有効であった	評価理由	・恒常的な看護師の不足を解消できず、とりわけ入院患者の減少に影響し、1日平均入院患者数は29.2人と目標値41.0人を大きく下回った。1日平均外来患者数も141.3人と目標値171.0人を割り込み、医業収益の減と物価高騰や人件費の上昇による費用の増により、厳しい病院経営となった。地域医療ニーズに応える医療の提供と患者サービスの一層の向上で経営の健全化を図り、持続可能な地域医療を目指す必要がある。（健康管理センター長） ・交通費助成及び腎臓機能障害者通院送迎サービス事業について、必要性の高い事業であるので、有効である。（保健福祉課長）	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

地域医療体制の充実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	B	B	C	C		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	B	C	C	C		
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
B	C	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)	成果目標のうち、平均患者数(外来)が中間目標を超えているとはいえ、前年度より実績が大きく減少し、平均患者数(入院)についても減少していることから、「C」評価が妥当と判断した。	
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		